

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	18 - デ研 - 2
-----------------	-------------

平成18年度配分 研究成果の概要

研究名	地域デザインと公民連携セクターの新展開				
配分を受けた特別研究費	デザイン研究科長特別研究費				800 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン学部 (大学院デザイン研究科)	生産造形学科	教授	黒田 宏治	
共同研究者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀要(静岡文化芸術大学研究紀要)		号数	第 7 号 (H19年 3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:第3セクター研究会日韓国際 シンポジウム(ソウル)		発表日 (発表 予定日)	平成19年9月14日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:本研究は、平成17年度実施の「地域デザイン推進の事業ネットワーク」(デザイン研究科長特別研究費)と一連の研究として実施された。

(研究の目的等)

1980年代に増加した第3セクターにはじまり、NPO、PFI、指定管理者など、地域デザインを推進する公民連携セクターは近年多様性を増してきた。その間、第3セクターに関しては、都市・リゾート開発等での相次ぐ破綻などを背景に、問題視する論調が大勢であったように思われる。しかしながら、その後も、中山間地域等を中心に第3セクターでのプロジェクト実施は少なくなく、また従前とは異なるタイプも見受けられるところである。そこで、本調査研究では、近年の公民連携の新展開も捉えつつ、あらためて地域デザインのコアの一翼を占める第3セクターに着目し、その在り方・可能性、事業化・運営方法について探求することを目的とした。

(研究の実施方法等)

- (1) 専門雑誌・データベース等により地域デザインの主軸となる公民連携セクターの最近動向を調査・収集した。
- (2) 公民連携セクター型の地域デザインの特徴プロジェクトの精査を行った。なお、取り上げた主なプロジェクトは次の通りである。
 - * 実地訪問調査 (株)川根町温泉(静岡県川根町) →H17年度より継続
(株)マッカリーナ(北海道真狩村)
 - * データベース調査等 (株)黒壁(滋賀県長浜市)
(株)いろどり(徳島県上勝町)
(株)エコアス馬路村(高知県馬路村)
(有)都濃ワイン(宮崎県都農町)
- (3) 上述の調査・検討を踏まえて地域デザイン推進の公民連携セクター(第3セクター)の戦略的活用の可能性について考察・検討した。

(得られた成果等)

小規模地域の第3セクターの組織面・戦略面の特徴として次の6点が抽出できた。小規模地域においては民間活力活用ないし民営化といっても適当な担い手が存在しないケースも少なくなく、それらの諸点に留意しつつ新たな事業の担い手の構築が必要となる。

- ① 地元自治体の出資構成比率が高いこと
- ② 地域外からの専門人材誘致が図られていること
- ③ プロパー主体の事業運営が行われていること
- ④ 品質重視の商品展開が図られていること
- ⑤ 世界を視野に事業展開が図られていること
- ⑥ デザイン専門家の参画を得て事業推進が図られていること